

働き方改革及び工事円滑化に向けた取組み

取組み概要

令和6年7月11日

みち、ひと…未来へ。



1. 取組みの目的

1. 目的・経緯

発注者として、業界団体との意見交換会等を踏まえ、これまでも工事管理の効率化や書類の簡素化に取り組んできたところである。

さらに、2024年4月から建設業に時間外労働の上限規制が適用されるため、**長時間労働の是正が急務である業界からの要望**を踏まえて、発注者として受注者の負担軽減に対する取組みを進めていく。

2. 課題

[最優先課題]

課題①：設計変更や対外協議のための資料作成の削減
関係業団体のアンケート調査等によれば、**発注者による過剰な工事関係書類の要求が、時間外労働の増加に繋がっている、とする指摘がある。**

課題②：品質管理、出来形管理の効率化
直轄事業に比べて高速道路会社の工事では、**高い品質を確保するための様々な品質管理、出来形管理や、それに伴う多くの書類提出が求められる、との意見がある。**

NEXCO西日本 代表取締役
芝村副社長執行役員

(一社)日本建設業連合会
風間公共工事委員長



(一社)日建連と当社役員を交えた意見交換会
(2024.2.14 西日本本社会議室)

2. 推進会議による検討状況



■ 「働き方改革及び工事円滑化に向けた推進会議」を設置

NEXCO3社 35名(技術本部・保全及び建設事業本部 各部の部長・課長級), 日建連15名(高速道路部会, 土木部長級)

工事会社ヒアリング 2023年 7月18日～31日 日建連の土木関係幹部の意見をヒアリング

第1回 . . . 2023年 7月26日 日建連アンケート確認、検討課題抽出

現地ヒアリング 2023年 8月 3日～9月6日 NEXCO各社の本社各部課長・代理級が現地へ出向き、
工事受注者、NEXCO社員、施工管理会社 の各々にヒアリング(対面)

[NEXCO3社 計69工事：西日本：22工事] ※別途、施設14工事もNEXCO西日本のみ独自に実施

第2回 . . . 2023年 9月12日 現地アンケート結果、NEXCO3社施策(案)確認

第3回 . . . 2023年 10月10日 日建連改善要望、NEXCO3社施策(案)確認

第4回 . . . 2023年 10月20日 中間とりまとめ (内容は他の業界団体へも共有)

第5回 . . . 2023年 11月22日 懸案協議、NEXCO3社施策(案)確認

第6回 . . . 2024年 1月25日 最終とりまとめ(案)、次年度取組み施策(案)協議

2024年 2月14日 日建連本部と当社役員を交えた意見交換会

第7回 . . . 2024年 3月18日 最終とりまとめ (内容は他の業界団体へも共有)

2024年 3月21日 NEXCO3社、日建連HPで公表(行動宣言ポスター、工事管理に関するガイド)

※ 2024年 3月27日 定例会見、取組み内容を説明

2024年4月 取組みの運用開始

2024年7月 要領等改定

2024年度においても、業界団体と連携し、効率化、省力化に資する検討を継続実施

工事管理スリム化ガイド 4-you

令和6年7月

西日本高速道路株式会社



働き方改革及び工事円滑化

行動宣言



～受発注者双方が気持ちよく働ける環境づくり～

休

週休2日の推進等により
休日を確保します

- 週休2日および
時間外労働の短縮等に配慮した
適切な工期を設定

効

業務執行の
効率化を進めます

- 書類削減等を目指した最新の
ルールに基づく工事管理の徹底
- 資料作成にあたっては、目的と
役割分担を明確化
- Kcube2および連携立合の活用を推進
- 「工事関係書類提出マニュアル」の活用を徹底

適

業務執行の適正化により
生産性を高めます

- 契約条件の適切な明示
- 条件変更が生じた場合、受発注者間の協議、
設計変更等の手続きを適時適切に実施
- 「設計変更ガイドライン」活用を徹底
- 三者会議等の有効活用

話

良好な
コミュニケーションを
確保します

- 挨拶を欠かさず、
良好なコミュニケーションを実施
- ウィークリースタンスおよび
ワンデーレスポンスの徹底
- 受発注者で工程進捗、
課題・改善案を共有

令和6年7月第2版
工事管理スリム化ガイド

講習が完了したことを確認しました

説明責任者

講習を受講しました

氏名



3. 取組みの概要



(1) 適正な工期の設定

- ① 週休2日工事の完全実施
 - ・ 既契約の未対応工事を週休2日指定工事へ移行
 - ・ 雨天日、猛暑日を考慮した工期設定
- ② 書類作成工期の付与と費用負担
- ③ 適正な工期算出のための歩掛の設定、必要な経費等の計上 ※

青字は2024年7月迄に導入した施策
※2024年7月以降

(2) 書類作成の軽減

- ① 設計変更時及び対外協議の作成資料の軽減
 - ・ 過剰な作成資料の状況把握、事例のとりまとめ
 - ・ 意思決定を迅速化し過剰な資料作成指示を抑制させる仕組みの導入
 - ・ 変更指示、対外協議における協議資料の簡素化及び役割分担の明確化
 - ・ NEXCO社員および施工管理員への意識の徹底
- ② 工事書類の簡素化と受発注者間の認識合わせ
 - ・ 土木工事関係書類簡素化ガイドラインの改定
 - ・ 工事情報共有・保存システム(K-cube2)の機能改良
 - ・ 新たな利便性機能を付与した新システムの構築 ※

(3) 施工管理の効率化・省力化

- ① 検査や立会手法の改善
 - ・ 遠隔臨場の適用拡大などIT活用による、検査立会時間の短縮
 - ・ DXなど新技術活用の拡大による、書類作成時間の削減
 - コンクリート施工管理要領の改定による書類の削減
 - その他の施工管理要領の改定による書類の削減 ※
- ② プレキャスト製品の更なる活用 ※

(4) 設計図書の品質向上

- ① 精度の高い設計図書の作成
- ② 積算条件の明示等への配慮 ※